

# Crew Voice

2017年4月28日 第14号

JR東海労・新幹線車内業務見直し反対プロジェクト

## 行路がきつくなる・一丁半が増える 会社が労働強化を公然と認める

ユニオン新幹線業務部情報「第581号」（3月8日付）によると、  
組合「運転士、車掌の行路内容（拘束時間、労働時間、労働外時間等）が現在の  
行路と比較して悪くなるのではないか」

会社「現行の行路と比較して、諸条件が大きく悪化することはないよう検討し  
ていく」

「諸条件が大きく悪化することはないよう」ということは、「悪化しない」とい  
うことではない。**遠回しだけれども「行路内容は悪化します」といっているの  
だ。**

ユニオン情報は、このような会社回答が書いてあるだけでユニオン役員はどう  
いう主張をしたのか何も書いてない。そもそも会社と議論したのか怪しいものだ。  
会社説明をそのまま認めたということである。

また以下のようなやり取りもある。

組合「クルー化で車掌の行路に運転士が引っ張られて、一丁半が増えたという  
ことにならないようにしていただきたい」

会社「3本目の配慮はできる限りしていきたい」

「配慮はできる限りしていきたい」ということは「一丁半は増えません」とい  
うことではない。**会社は一丁半行路が増えることをはっきり認めたのである。**

だがこのような回答に対しても、ユニオン役員が「問題だ」とも「抗議した」  
とも一言も書いてない。

## 回答を聞くだけの労働組合はいらない

黙って会社説明を聞くだけのユニオン役員などいらない。  
ユニオン組合員のみなさん！

会社とユニオン役員に対し抗議の声を上げよう！